

つながる すみだ人

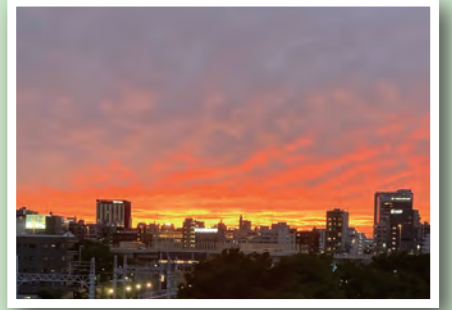
私の好きな すみだ

今月の1枚

「真っ赤な夕日」

【撮影】井上真理子さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は今号3面をご覧ください。



【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



宮澤哲男さん(京島在住)

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

65歳のときに会員になりました。当時協会の役員をしていた近隣の方に誘ってもらったのがきっかけです。ゴルフもグラウンド・ゴルフも経験はありませんでしたが、個人競技で自分が失敗してもほかの方に影響がないし、健康のためにと、軽い気持ちで始めました。

現在も続いているのは、やはり楽しいからです。グラウンドの状態をよく見て、クラブの打ち方を考えます。例えば、グラウンドが芝生だと、ボールを転がすだけでは摩擦で止まってしまう

Q. 宮澤さんは、すみだのどんなところが好きですか？

「下町」という言葉がとても似合う、すみだの気取らない温かいつながりが好きです。だからこそ、地域にできるだけ関わっていきたくと思っています。墨田区グラウンド・ゴルフ協会の会長以外に、寿和会の会長や墨老連の第5地区長も務めています。どちらの役職も昨年からで、

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第67回は、様々な地域活動に携わりながら、墨田区グラウンド・ゴルフ協会の会長を務める宮澤哲男さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

老人クラブ「京三中央寿和会」(以下、寿和会)や墨田区老人クラブ連合会(以下、墨老連)などの活動に携わりつつ、グラウンド・ゴルフで汗を流し、健康を維持しています。

私が所属する墨田区グラウンド・ゴルフ協会の会員は現在53人で、最年長の方は96歳です。私は70代なので、まだまだ「若手」。令和元年から会長を務めています。

練習は、荒川四ツ木橋緑地の八広自由広場で、

ので、ボールをうまく弾ませて勢いを付ける、といったことですね。でもそうやってよく考えて打ったのに、小石や木の根っこが邪魔してボールが想定外の方向に転がってしまうこともあって、そんなときは仲間と笑ってしまいます。力があって強く打てる人が勝つとは限らず、性別関係なく一緒に楽しめる点も魅力だと思います。

暑い時期は、水分補給や練習時間の短縮など、特に体に気を付けながら、皆さんと一緒に楽しんでいきます。

毎週月・木曜日の午前9時～10時半頃に実施していますが、この1時間半の練習で、5000歩くらい歩くんです。足腰の健康につながっていると思います。また、スコアの記録や計算が頭の体操になるので、認知症予防にもぴったりです。普段の練習のほかには、千葉県での1泊2日の野外研修や定期的な大会があります。

興味がある方は、気軽に練習を見学したり、体験したりしに来てください。



▲スタートからホールまでは15m～50mです。なるべく少ない打数でホールに入れます。



◀旗の根本にある円がホールです。この中にボールを入れれば終了です。



▲興味がある方は、協会の事務局 ☎090-3222-5364へお問い合わせください。

次回登場してくださるのは・・・

立花四丁目町会の副会長を務めるほか、様々な地域活動に携わる山本絹子さんです。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

すみだに降った雨水は、晴れた暑い日に大活躍！

墨田区長

山本 亨

区では、熱中症対策や環境意識啓発の一環として雨水活用の普及に努めています。また、8月は「打ち水推進月間」としており、私も先日、両国駅広小路で行われた打ち水イベントに参加しました。

毎年恒例となっているこのイベントは、両国協力会に加盟する刀剣博物館と国技館に設置されている貯留設備で貯めた雨水を活用した、とても環境に優しいイベントです。

当日は大変な暑さでしたが、会場に集まってくれた日本相撲協会の西岩親方やJR錦糸町駅長をはじめとする地域の皆さん、居合わせた観光客の方々と一緒に「涼しくなあれ!」の掛け声に合わせて打ち水を行いました。開始前に約

52度もあった地表温度は、打ち水の直後には約41度まで下がり、しっかりと効果を感じられました。まだ暑い日が続いていますので、皆さんも自宅などで実践してみたいはいかがでしょうか。

昭和60年に台東区蔵前から両国に戻ってきた国技館。その屋根に降る雨水を貯めて生活用水などに活用しようと始まったすみだの雨水活用の取組は、40年以上の歴史があります。区は雨水活用の先進自治体として、このイベントをはじめ、「雨水タンク」を設置する方への助成制度なども実施しています。これからも、限りある水資源を有効に活用しながら、雨と都市の共生を進めます。

「すみだゼロカーボンシティ2050」宣言の達

成に向けて、今後も区民や事業者の皆さんと連携しながら地域全体を盛り上げるとともに、雨水活用の促進についてもPRしていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。



両国駅広小路で実施した打ち水イベントの様子

